

人口増に向けた取り組み

加西市の人口は、昭和 61 年度の 53,056 人をピークとし、その後減少傾向にあり、平成 19 年度に 5 万人を下回りました。平成 27 年 3 月末現在は 45,695 人です。

平成 19 年以降の減少割合は特に大きく、人口増を市の重要課題と位置づけ「5 万人都市の再生」に向けた取り組みを行っています。

平成 26 年度も引き続き人口増対策本部と人口増対策プロジェクトチーム（平成 24 年 3 月設置）により、本部会議（3 回）、プロジェクトチーム会議（26 回）を行いました。特にプロジェクトチームは 3 つのテーマ（①土地・住宅、②産業・交通、③若者支援）に分け、それぞれのテーマに沿った議論を進め、昨年度までの取り組みに加えて新たな取り組みを実施しました。

■ 5 年間の人口動態（人）

各年度 3 月末現在

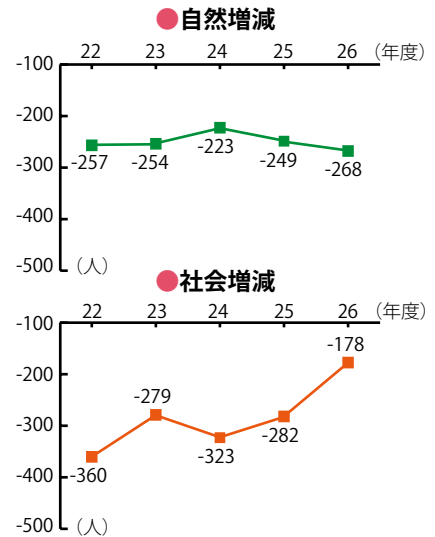
年度	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26
人口	47,733 (△ 672)	47,205 (△ 528)	46,672 (△ 533)	46,141 (△ 531)	45,695 (△ 446)

● **出生・死亡による増減（自然増減）** / 出生者数はほぼ横ばい、死亡者数は増加傾向にあり、平成 26 年度は 268 人減少しています。

● **転入・転出による増減（社会増減）** / 転入者数は平成 22 年度の 938 人から 26 年度は 1,142 人に増加。増加傾向にあった転出者数は 26 年度 1,320 人と、減少幅が同年度比で 360 人から 178 人に縮小しました。

平成 26 年度は 7 年ぶりに 500 人減を下回り 446 人減となりました。

※平成 24 年 7 月に外国人登録法が廃止され、住民基本台帳法の改正により、平成 24 年度以前の自然・社会増減の人数には、外国人を含んでいません。



■ 新たな取り組み

① 単身者用賃貸共同住宅補助制度（平成 26 年 9 月～）

単身者用のアパート不足を解消するため、アパート建設に対する補助期間を 5 年から 10 年に延長（平成 27 年中に建設された住宅に限る）。

② 北条高校活性化事業（平成 26 年 12 月～）

市内唯一の普通科高校を地域が一丸となって支援し、市全体の活性化を図るため、「北条高校活性化協議会」を設立し、4 月から学校法人河合塾による「北条高校アフタースクールゼミ」を実施（11 頁参照）。



第 1 回の英語の講義（4 月 14 日）

③ 新たな加西市空き家情報登録制度「空き家バンク」の実施（平成 27 年 2 月～）

行政の機能（居住希望者と地域住民との調整）と市内不動産事業者の強み（調査・仲介・情報発信等）を生かした新たな空き家バンク制度を整備。



中富町にある空き家

④ 空き家改修補助制度（平成 27 年 2 月～）

空き家を有効活用するため、空き家改修費用の一部を補助（6 頁参照）。

⑤ お試し滞在補助制度（平成 27 年 3 月～）

地域の歴史や文化に触れる機会を提供することで、市外からの移住を促進するため、移住を希望する方が、市内で一定期間滞在する費用の一部を補助（6 頁参照）。



市指定文化財の五百羅漢石仏

⑥ 子育てママ就職支援補助制度（平成 27 年 2 月～）

安心して出産や子育て、働くことができる環境の整備を図るため、出産や子育てにより職に就いていない女性が就職するために受講する教育訓練講座の受講費の一部を補助。

■ 今後の取り組み

人口増対策本部・プロジェクトチームを核として、加西市の人口増施策について議論を進めていきます。集中と選択により、必要な事業を今まで以上に積極的に実施していきます。

健やかで幸せな暮らし「歩くまちづくり条例」



玉丘史跡公園内をウォーキング

くため、4月1日に「加西市歩くまちづくり条例」を制定しました。

市民・地域コミュニティー・行政が連携して、「歩くまちづくり＝健幸都市づくり」を推進することを目指します。「健幸」とは、からだの健康だけでなく、人々が生きがいを感じ安心・安全で豊かな生活を送れることです。

今後は、運動ポイント事業（歩くポイントが貯まり、健康関連グッズ等と交換。詳細は広報かさい6月号でお知らせします）、市内ウォーキングコースの紹介、ウォーキング教室、講演会の開催などをはじめ、加西市に暮らすことで、自然と歩いてしまう。歩きたくなる。歩くことが楽しくなるような取り組みを提案し、市民の皆さんの歩く健康づくりを応援していきます。

加西市は、歩いて暮らすことが健康の基本であるという考えのもと、生涯にわたり健やかで幸せに暮らすことができるまちづくりに取り組んでい

加西市歩くまちづくり条例（前文抜粋）

子どもから高齢者まで、より多くの人、いつでもどこでも無理なくできる健康づくりを探してみよう。

今こそ、市民一人ひとりがいつまでも健康であり続けるために歩こう。安全なまちを歩こう。仲間たちと歩こう。加西の自然の中を歩こう。



鎌倉山（河内町）からの風景

■「歩く」ことの健康効果

- ・歩くこと全身運動になる
- ・脳の老化防止になる
- ・血行をよくして高血圧症を防ぐ
- ・動脈硬化を防ぐ
- ・ストレス解消になる
- ・エネルギーを消費して内臓脂肪を燃焼する



■快適に歩くためのポイント

- ・あごを引き視線は少し遠くへおく
- ・呼吸は一定リズムで軽やかに
- ・背筋は伸ばし、胸を張る
- ・肩の力を抜きリラックス
- ・脇をしめ肘は90度近く曲げる
- ・手は軽く握って自然に腕をふる
- ・脚はひざを伸ばしてかかとから着地し、つま先で蹴りだすように歩く
- ・歩幅はやや大きく

■安全にウォーキングを続けるための注意事項

- ・ひざ痛、腰痛などがある人は主治医に相談してから
- ・運動量や強度は体調に合わせて決して無理はしない
- ・脱水症や熱中症には要注意
- ・動きやすく気候に合わせた服装で
- ・準備運動、整理運動をする

■5月のウォーキング

●ふるさと再発見ハイキング

「黒田二十四騎」のひとり後藤又兵衛の菩提寺を巡る

多聞寺は、又兵衛が大坂夏の陣で憤死した翌年の1616年に息子の佐太郎が建立。又兵衛没後400年になり、菩提寺として位牌も大切にまつられています。

日時／5月13日（水）9:10～12:40

集合場所／観光案内所（北条町駅内）

コース／約5km ※当日参加も可

参加費／300円（北条鉄道往復運賃が別途必要）

主催／歴史街道ボランティアガイド

問合・申込先／観光案内所 ☎④ 8823

●第2回播磨国風土記1300年の里記念ウォーク

「日本最古の石仏をたずねて」加西アルプス縦走コース

白鳳時代に造られたという古法華石仏を訪ね、加西アルプスと呼ばれる善防山から笠松山の縦走トレッキングを行います。

日時／5月23日（土）10:30～

集合場所／播磨下里駅 コース／約8km ※申込不要

参加費／無料 ※昼食は各自で準備してください。

主催／加西市観光まちづくり協会、神鉄コミュニケーションズ

問合先／観光案内所 ☎④ 8823